

会 報

郷土久留米

第一五四号

発行

久留米郷土研究会
令和七年十月十五日

垂綸石・集合写真

草野永平が館を構えた五反田の近くにある玉島川の垂綸石。神功皇后があゆ釣りをしたと伝わる。皆さん納得の様子でした。9月28日



高良玉垂宮縁起（左）
南北朝時代 重要文化財

神功皇后が玉島川の河畔で食事の時に、新羅との戦に勝てるか？裳の糸を抜き、針を曲げて釣針とし、飯粒を餌として鮎釣りをしている姿が描かれている。



肥前国風土記 松浦郡

昔者、氣長足姫尊、新羅を征伐たむと欲して、此の郡に行でまして、玉嶋の小河の側に進食したまひき。ここに、皇后、針を勾げて釣と爲し、飯粒を餌と爲し、裳の糸を縋と爲して、河中の石に登りて、釣を捧げて祝ひたまひしく、「朕、新羅を征伐ちて、彼が財寶を求がまく欲ふ。

其の事、功成りて凱旋らむには、細鱗の魚、朕が釣縋を呑め」とのりたまひて、既にして、釣を投げたまふに、片時にして、果して其の魚を得たまひき。皇后、のりたまひしく、「甚、希見しき物」とのりたまひき。因りて希見の國といひき。今は訛りて松浦の郡と謂ふ。

この所以に、此の國の婦女は、孟夏四月には常に針を以ちて年魚を釣る。男夫は釣ると雖も、獲ること能はず。

もくじ

巻頭・神功皇后の鮎釣りー 1

樋口一成

一、論考ー 2

(6)「万年時計秘話」(五)

河本 信雄

二、ふるさと発見ー 5

高山彦九郎は旅すー 5

いせ祐日兒

三、見学会ー 6

1 甘木・朝倉・小石原方面

の巨樹巨木探訪に参加し

てー 6

2 佐用媛伝説と歴史の

ロマンを求めてー 7

山本 廣明

3 鷹島・唐津を旅してー 8

樋口 一成

四、市民公開講座のアンケ

ート結果についてー 9

秋山 正信

五、お知らせー 12

福史連行案内

新刊紹介 中央図書館調研究室

原稿募集 新年1月15日

編集後

マンガ「たけしくん」③⑨

郷土久留米

発行 令和七年十月十五日

久留米郷土研究会

事務局久留米市野中町九七〇一

久留米市立中央図書館内

電話 0942-387116

郵便振替 01760-46735